

2006年10月2日

各 位

会 社 名	株式会社キョーリン
代 表 者 名	代表取締役社長 荻原 郁夫
コード番号	(コード番号 4569 東証第一部)
問 合 せ 先	取締役 経営戦略室長 穂川 稔
電 話	03 - 3293 - 3414

会社分割によるグループ事業再編に関するお知らせ

キョーリングroupは2006年10月1日を期して、株式会社キョーリン(代表取締役社長 荻原 郁夫)を承継会社として、当社の完全子会社である杏林製薬株式会社(代表取締役社長 荻原 郁夫)を分割会社とした会社分割(吸収分割)を行い、杏林製薬株式会社の子会社である東洋ファルマー株式会社、ドクタープログラム株式会社、株式会社ビストナー及び株式会社杏文堂(以下、「子会社等」という)の支配及び管理にかかる営業を承継することを決定したことを2006年4月19日に公表しておりましたが、2006年10月1日、当グループ事業の再編を実施し新たな体制でスタート致しました。

記

< 会社分割の目的 >

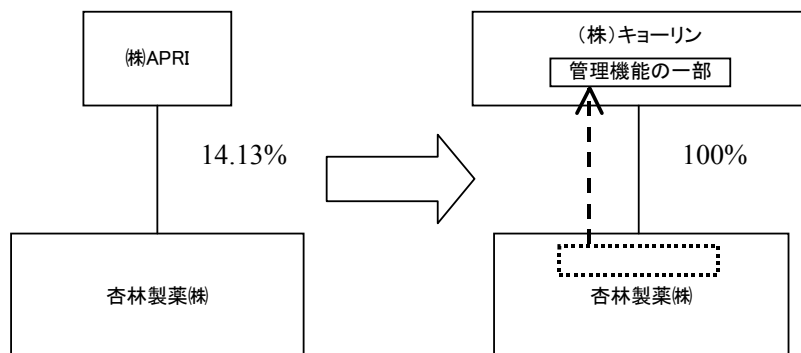
当社グループは、平成17年11月18日に持株会社体制への移行を公表し、その第1ステップとして、平成18年3月10日に杏林製薬株式会社との株式交換により、当社がキョーリングroupの持株会社となりました。本件会社分割では、持株会社体制への移行の第2ステップとして、ジェネリック医薬品(後発医薬品)事業、ヘルスケア事業等の業態別子会社の事業再編を実施し、当社が東洋ファルマー(株)、ドクタープログラム(株)等を子会社として直接管理することで、持株会社である当社の下、目指す企業像「グローバルな創薬ビジネスをコアとし信頼をベースとした特色ある複合ヘルスケア企業」を具現化できる経営体制を構築しました。

当社は、グループの中核事業である創薬ビジネス及び医薬品事業を担う杏林製薬株式会社の他、会社分割により承継する子会社等のグループ統括会社としてグループ全体の経営戦略機能を担い、経営資源の効率的な配分や運用を行うことで、グループ全体の総合力を発揮し、連結業績の向上に努めてまいります。

(別紙：グループ事業再編への移行スキーム)

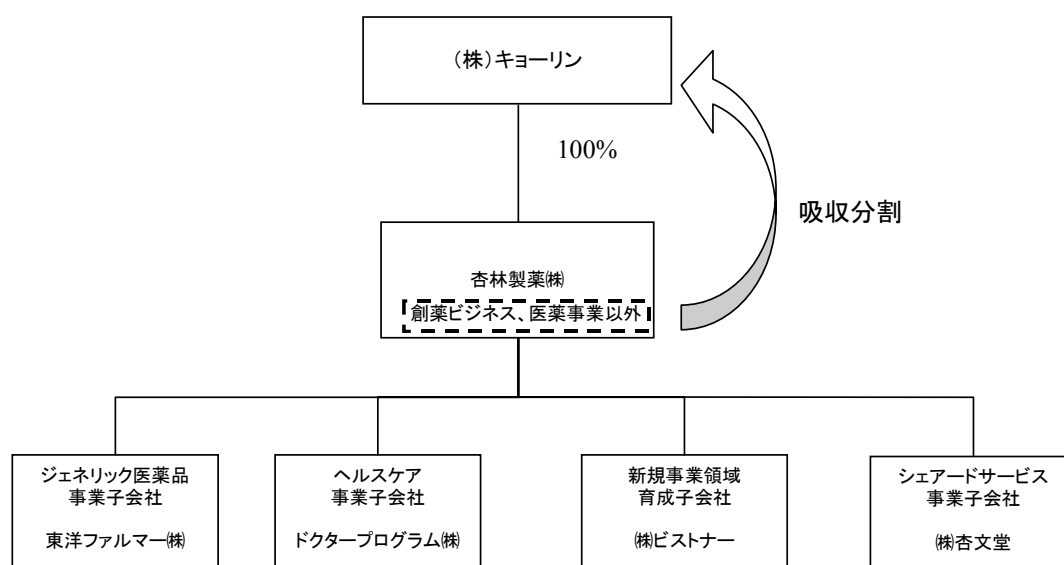
<ステップ1：平成18年3月10日実施済み>

当社(完全子会社)と株式会社キョーリン(完全親会社)との株式交換



<ステップ2：平成18年10月1日>

会社分割を用いたグループ会社間の事業再編



<ステップ1及びステップ2完了後>

